

## 2019 年度・事業報告書

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 カリタス釜石

### 1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業

#### ■概況

震災から 9 年という年月が経過した。復興公営住宅への転居もほぼ完了し、仮設住宅は一部を残し順次取り壊されていく予定となっている。今まで仮設が設置されていた場所は、公園や校庭など本来の姿を取り戻す。日常の生活面では、落ち着きを取り戻したものの、震災によって一人暮らしを余儀なくされた高齢者や行き場のない方々もおり、孤立・孤独と闘いながら日々を過ごしている。インフラ整備もひと段落し、釜石はこれから、街の復興と心の復興へと向かいつつある。

※ (2020 年 3 月 6 日~3 月 31 日の期間は、感染症予防の観点から活動の自粛をおこなった)

#### ■主な活動内容

##### 【サロン活動】

サロン活動実績 (仮設住宅談話室、地域集会所、復興住宅集会所等でのサロン活動)

サロン場所 (実施主体)	通算 (2019 年度)		
	開催回数	受益者数	ボランティア数
ふいりあ (カリタス釜石)	286 回	4,928 人	237 人
仮設住宅 (田郷 A、平田第 2、日向 D)	20 回	103 人	42 人
地域集会所 (日向みなし・室浜)	14 回	98 人	19 人
お茶べり広場 (東部地区復興住宅の住民さん対象)	12 回	177 人	27 人
復興公営住宅集会所	116 回	795 人	188 人
計	448 回	6,101 人	513 人
(参考) つながり支援活動 (見守り) : 件数	375 件		

##### 【仮設住宅お茶っこサロン】 3ヶ所 103名 (終了した日向 D 含む)

現在仮設で暮らしている方々は、自宅再建される方々で地元の大工さんの手が少なく遅れている状態である。また現在仮設でお茶っこサロンが開かれているのは平田第 2 仮設の談話室のみとなった。



**【オープンスペース「ふいりあ」】**

利用者 4,928名

復興住宅や近隣の方々、被災したしないにかかわらずカリタス釜石のイベントに参加することで友達が友達を呼び、「ふいりあ」を訪れる方が増えている。住民さん同士、新しく参加された方を受け入れ、一人一人が思いやりを持って仲良く過ごしている。また、手芸やクラフト、折り紙など住民さん同士で教えあいながらそれぞれ自信作を作りだしている。

**【地域集会所（日向みなし・室浜）】**

2ヶ所 98名

室浜は数か月に一度お茶っこサロンが行われているが、皆さん70代から80代ということもありデイサービス利用されている方や足腰が悪くなり来られなくなった方々もいる一方、お茶っこサロンは地域の方々の楽しみの場となっている。また日向みなし集会所では自宅再建された方々も参加され近況などお話ししながら、涙あり笑いありのサロンとなっている。

**【復興公営住宅集会所】**

19カ所 795名

主な所として、市内東部地区（市役所周辺）や只越町・大只越町（カリタス周辺）、大町、大渡、嬉石町（製鉄所周辺）などの復興公営住宅の集会場では月に一回のペースでサロンが行われている。参加される方々は「お茶っこサロンがあると普段、誰とも話をしないから有難い」とか「手作業を一緒に楽しめて嬉しい」などの声を聴く。また、両石復興住宅では参加される方々が踊ったり歌ったりと、とても賑やかにサロンが開催されている。

**【つながり(見守り)支援活動】**

訪問件数375件

震災当初から活動が継続され9年間関わってきた方々も普段の生活を取り戻しつつ、いままでの自分自身を見つめなおし振り返り明るい表情を取り戻している。何年たとうと東日本大震災の痛みははかりしれないが、この痛みをしっかりと受けとめて、これからも人々に寄り添い活動を続けていきたい。

**【つながり食堂】**

受益者数 11回 77名

見守り支援対象者や一人暮らしの高齢者を対象に月に一度「つながり食堂」を実施。季節に合った家庭料理を提供している。つながり食堂は食を通じたコミュニケーションとして、孤独や孤立感を感じている住民の方に寄り添い、見守り活動を継続して生きるサポートを行なっている。月に一度の再会を楽しみに来られている方も多い。

**【子ども食堂】** 2019年7月21日 総動員数55人（受益者23人）

今年度も地域の子どもたちを対象に高校生のボランティアによる学習支援とレクリエーションを含めたこども食堂（わいわい食堂）を開催。釜石市生涯学習文化スポーツ課の協力を得ながら賑やかに開催された。参加した子どもたちは、高校生から夏休みの宿題の指導をわかりやすく受けたり、ダンスや歌、ゲームをおこなったり、一緒に昼食を楽しんだ。年齢も近い事から子どもたちは、のびのびと参加している姿が印象的だった。

**【ボランティア派遣】**

受益者数計

2,660名+291名(イオン)で 2,951名

釜石市社会福祉協議会（以下釜石市社協）や他団体、近隣住民などからの派遣要請に応じている。  
2019年4月から2020年1月までの毎週火曜日

イオンスポーツクラブサロン 291名

- 4月21日 「イースターパーティー」 ※50名
- 7月25日 「上中島フェスティバル」 ※約2000名
- 8月5日 「唐丹海あそび」 ※約80名
- 8月18日 「母子寡婦福祉協会の手伝い」 ※約100名
- 9月7日 「ふれあい福祉まつり」 ※約350名
- 12月14日 「市民クリスマス会」 ※約80名



その他、台風19号被害地域での災害ボランティア、市内ボランティア団体(人形劇団体どっこいしょK(荷物運搬の手伝い)、釜石シネクラブ(映画上映会の手伝い))など。

**【イベント、セミナー等】**

受益者数計 1,393名

定期開催

- 「カリタス釜石料理教室」(6回) ※58名
- 「男の料理教室」(5回) ※22名
- 「パッチワーク教室」(12回) ※162名
- 「お茶べり広場」(12回) ※177名
- 「お楽しみ卓球大会と昼食会」(11回) ※258名

不定期開催

- 「お抹茶と和菓子を楽しむ会」(5回) ※171名
- 「寄せ植え教室」(2回) ※30名
- 4月30日「そば打ち体験とお振る舞い」 ※56名
- 7月21日「わいわい食堂」 ※23名
- 7月28日「女性活躍推進セミナー」 ※25名
- 8月6日「鶴住居保育園縁日」(京都暁星高校持込み企画) ※約200名
- 11月24日「パープルセミナー」 ※50名
- 12月21日～25日「クリスマス会」(復興住宅5カ所にて開催) ※56名
- 12月24日「クリスマス会」(田園調布雙葉高校持込み企画を含む) ※60名
- 12月26日「子どもクリスマス会」(田園調布雙葉高校持込み企画) ※45名



ボランティア受入数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
女性	2011年度	45	56	73	65	113	55	79	84	70	55	92	73	860
	2012年度	63	64	54	82	107	93	41	39	88	29	45	71	776
	2013年度	28	47	23	52	149	48	30	25	74	25	13	68	582
	2014年度	24	26	21	54	112	32	13	30	50	6	15	39	422
	2015年度	25	17	32	33	99	29	12	18	43	8	11	42	369
	2016年度	10	9	8	30	60	19	5	9	38	12	13	15	228
	2017年度	6	7	7	31	62	11	8	13	46	3	5	19	218
	2018年度	5	11	5	30	38	16	6	3	11	2	6	12	145
	2019年度	13	7	10	28	37	6	8	6	10	5	6	0	136
男性	2011年度	75	81	54	64	97	64	56	51	58	42	39	49	730
	2012年度	48	37	27	43	54	46	32	24	44	31	21	75	482
	2013年度	29	25	16	41	50	45	12	21	26	7	7	50	329
	2014年度	23	24	13	26	50	32	17	25	24	5	12	42	293
	2015年度	10	16	17	22	71	39	14	16	24	4	3	35	271
	2016年度	9	9	4	21	37	23	9	4	11	3	3	34	167
	2017年度	7	10	5	9	54	12	2	4	15	4	2	20	144
	2018年度	7	6	6	8	27	7	6	5	12	1	1	22	108
	2019年度	10	3	5	6	19	1	6	4	16	1	2	0	73
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	2011年度	120	137	127	129	210	119	135	135	128	97	131	122	1590
	2012年度	111	101	81	125	161	139	73	63	132	60	66	146	1258
	2013年度	57	72	39	93	199	93	42	46	100	32	20	118	911
	2014年度	47	50	34	80	162	64	30	55	74	11	27	81	715
	2015年度	35	33	49	55	170	68	26	34	67	12	14	77	640
	2016年度	19	18	12	51	97	42	14	13	49	15	16	49	395
	2017年度	13	17	12	40	116	23	10	17	61	7	7	39	362
	2018年度	12	17	11	38	65	23	12	8	23	3	7	34	253
	2019年度	23	10	15	34	56	7	14	10	26	6	8	0	209
														6,333

(※1) 到着日を基準日とする

(単位:人)

【ボランティアの受け入れ】

今年度も夏季期間中の学生ボランティアの参加が多くみられた。学校持込のイベントなどは、開催を楽しみに待っている子ども達も多くベテランボランティアさんと一緒に仮設住宅や復興公営住宅でのお茶っこサロンを始め、様々なイベントに参加して頂いた。訪れた学生に震災当時の様子を丁寧に話してくれる住民さんもあり、真剣に聞いている姿が印象的だった。ボランティア参加人数は年々減少しているが、活動を通じて元気を届ける事ができたのではないかと思います。

■【釜石市ファミリーサポートセンター事業】

実績計 50 件

助成金額：889,000 円

この事業は、育児の援助を行いたい会員（サポーター）と援助をお願いする会員（ユーザー）の紹介紹介を行う事業である。今年度のサポーター会員登録数 19 名、ユーザー会員登録 70 名である。サポーター会員は、登録者数 19 名中、実質的な稼働人数は 10 名。半数以上が稼働している。

次年度は、事業縮小やマンパワー不足もあり、事業の委託更新はしないこととなった。

【援助実績】

区 分	2018 年度(件数)	2019 年度(件数)
保育施設の時間外の子どもの預かり	50	0
保育施設への送迎	16	0
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	0	0
学校の放課後の子どもの預かり	0	0
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	2	1
買い物などの外出の際の子どもの預かり	18	8
その他（イベント託児等）	33	41
合 計	119	50

※減少は利用者卒業したため。

【その他の活動】

ゆいっこ広場利用状況	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月	利用人数 113 人
サポーター養成講座	令和元年 5 月 14 日～6 月 18 日	参加人数 26 人
市主催イベント参加(ミニ縁日)	令和元年 9 月 29 日	参加人数 100 人
第 1 回クレイアート教室	令和元年 11 月 29 日	参加人数 12 人
第 2 回クレイアート教室	令和 2 年 2 月 28 日	中止

※所感

託児の回数は前年度に比べ、約 40%減となった。主な理由としては、定期的に依頼のあった託児が終了したため、依頼主が当事業に頼らなくても良い環境になったことが上げられる。

サポーター会員は多くの加入を期待していたが、新規 2 名の加入となった。





## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

事業名(定款に記載した事業)	・被災地復興支援事業
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動</li> <li>・見守り支援活動</li> <li>・他団体へのボランティア派遣</li> <li>・イベント・セミナー開催</li> <li>・多目的ホール・厨房設備の貸出</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業</li> <li>・「さんりくわかめっ！」の販売</li> <li>・パープルセミナーと女性セミナー</li> </ul>
実施期間	・2019年4月1日～2020年3月31日
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリタス釜石(大只越町2-4-4)</li> <li>・仮設住宅団地及びみなし仮設住宅団地(5ヶ所)</li> <li>・復興公営住宅(19カ所)</li> <li>・指定された場所(地域集会所等)</li> </ul>
従事者の人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ6名</li> <li>・ボランティア・活動人数延べ1,980名</li> </ul>
受益対象者の範囲及び人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石市仮設住宅団地及びみなし仮設団地住民、その他釜石市住民・延べ約15,000(名)</li> </ul> <p>※この他、イベントについては数が数えられない企画もある為、実際はさらに受益者がいます。</p>
事業費	31,885,538円